

- ・浸水範囲をできるだけ最小限とし、浸水頻度を下げよう、開口部以外は堤防整備が進められてきた
- ・開口部については、雲出川にはかつて12箇所存在していたが、下流部の整備状況を踏まえて順次締め切られ、現在では6箇所が残る
- ・今後の治水対策としては、現に有する遊水機能をできるだけ活かし、地元関係者等と十分調整を図ったうえで実施



取水堰の設置状況

雲出川水系

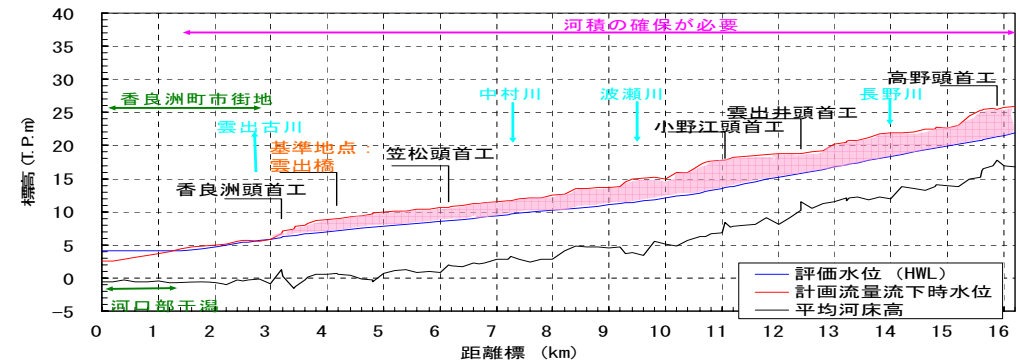
堰の設置及び流下阻害状況については、

- ・本川主要区間に5基設置
- ・ほとんどの堰は河積が大きく不足する区間に設置されており、河道掘削と併せて改築を行う
- ・改築にあたっては、関係機関と十分に調整したうえで実施

雲出川の堰一覧表

	施設名	管理者	設置目的	完成年	形式	長さ m	堰 高 (T.P.m)
雲出川本川	香良洲頭首工	津市	農業用水	S9	固定堰	204.6	1.32
	笠松頭首工	笠松井 土地改良区		S26	固定堰	132.5	3.00
	小野江頭首工	新井 土地改良区		S33	固定堰	138.2	8.35
	雲出井頭首工	雲出井 土地改良区		S35	固定堰	159.9	11.30
	高野頭首工	高野井 土地改良区		S26	固定堰	161.0	17.80

【雲出川本川】計画高水流量6, 100m³/s流下時



高野頭首工

小野江頭首工

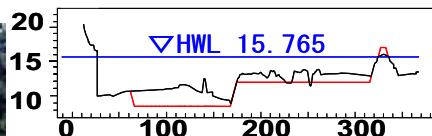
笠松頭首工

香良洲頭首工

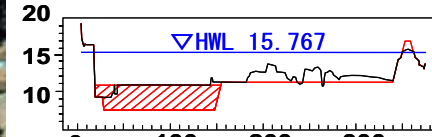
雲出井頭首工



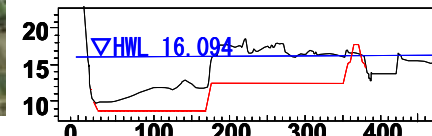
雲出川12.4k



雲出井頭首工(雲出川12.401k)



雲出川12.6k



【横断面図の凡例】

現況河道断面 —

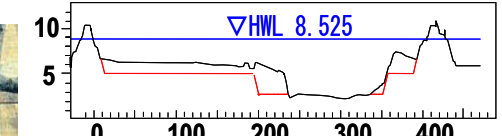
基本方針河道断面 —

固定堰改築部分 ▨

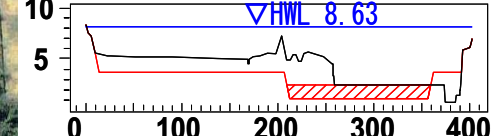
笠松頭首工



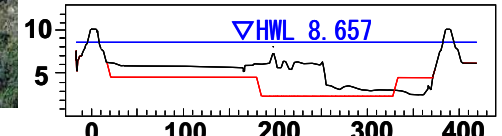
雲出川6.0k



笠松頭首工(雲出川6.1k)



雲出川6.2k



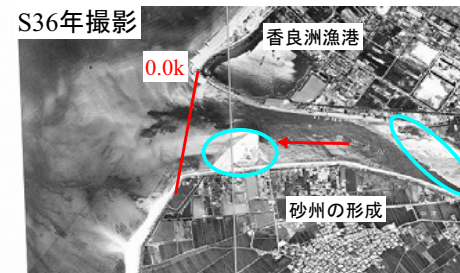
- ・河口砂州については、一時的に発達するが、洪水時にフラッシュされ、これまでも河口閉塞は発生しておらず、流下能力上、特に問題はない
- ・塩水については、本川の河口より3.1kに設置された香良洲頭首工により遡上が制限され、塩害については特に問題ない

河口閉塞の状況

本川河口部



雲出古川河口部



※流量は雲出橋地点のダムおよび氾濫がなかった場合の流量

S40.9 台風24号
約3,200m³/s
S46.9 台風29号
約2,900m³/s
S49.7 低気圧による豪雨
約3,900m³/s
S57.8 台風10号
約5,400m³/s

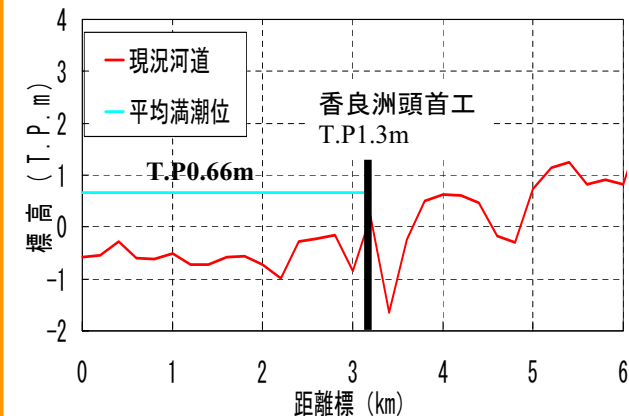
H2.9 台風14号
前線による豪雨
約3,700m³/s
H5.9 台風14号
約3,600m³/s
H6.9 台風26号
約3,500m³/s

横断面の凡例

— S50
— H2
— H14

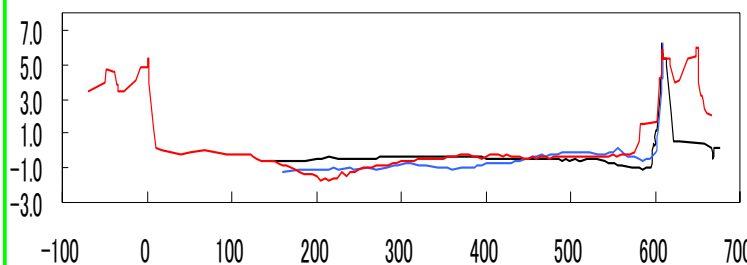
塩害の状況

本川河口部



- ・雲出川の感潮区間は河口から香良洲頭首工(3.1k付近)まで
- ・これまでに取水障害等は発生していない
- ・河口周辺の農地等において、これまで塩害は発生していない

本川0.0k断面の経年変化



雲出古川0.0k断面の経年変化

